

会計名 一般会計			特別支援学校整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	1	3					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	障害のある児童生徒に対して、普通学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し、自立を図るために必要な知能技能を授ける機会の充実を図る。			主たる内容	小垣江東小学校の敷地内に新たに校舎を増築し、特別支援学校として整備する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	特別支援学校施設整備指針							
		対象者	衣浦定住自立圏域の肢体不自由児・者		事業期間	平成26年度～平成29年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
						特別支援学校の基本計画・基本設計を行った。		特別支援学校の実施設計を行う。		
成果		・（仮称）刈谷市立特別支援学校等整備検討委員会を開催し、特別支援教育に関わる者などの意見を集約した。 ・特別支援学校の基本計画・基本設計をとりまとめた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標		設計進捗率（％）			—	—	25.5	100.0	—	
指標										
他市との比較検証		・市立の特別支援学校を開設している、瀬戸市や豊橋市の例を参考とした。								
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	13,839	42,000	合計	13,839,280円		
	財源	特定財源	0	0	0	20,000	報償費	86,280円		
		一般財源	0	0	13,839	22,000	委託料	13,753,000円		
	職員人件費②		0	0	1,971	1,497				
	総事業費（①+②）		0	0	15,810	43,497				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
		26年度までの累積事業費		0						
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			特別支援学校整備事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	現在、半田市の県立ひいらぎ特別支援学校等他自治体の特別支援学校へ長時間かけて通っている児童生徒の負担軽減を図る必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	既存の小垣江東小学校と併設することで、効率的な施設利用が可能となる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	本来の設置主体は県であるが、市立での事例も増えており、衣浦定住自立圏域の中で本市が主体となり特別支援学校を設置することによる有益性は高いといえる。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	強い市民要望がある中で、特別支援学校の整備は、施策として高い貢献度に繋がると思われる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・策定された基本計画・基本設計に基づき、引き続き実施設計業務を行う。					

会計名			刈谷南中学校大規模改造事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	3	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、生徒の教育環境の改善を図る。		主たる内容	昭和54年に建設された南校舎の内装を一斉に改修する。				
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	刈谷南中学校の生徒及び教員		事業期間	平成21年度～平成26年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		刈谷南中学校北校舎の内装改修工事を行った。		刈谷南中学校南校舎の管設備、電気設備、外装の改修工事を行った。		刈谷南中学校南校舎の内装改修工事を行った。		_____	
成果		設備等に不具合を起こしていた北校舎、南校舎の機能面を回復することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		改造工事進捗率（％）			51.9	92.7	100.0	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		27,790	194,548	44,885	0	合計	44,884,800円	
	財源	特定財源	0	180,000	20,000	0	工事請負費	44,884,800円	
		一般財源	27,790	14,548	24,885	0			
	職員人件費②		2,476	4,980	1,267	0			
	総事業費（①+②）		30,266	199,528	46,152	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷南中学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	築後30年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ生徒の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより生徒が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	工事の遅滞なく刈谷南中学校の南校舎の大規模改造工事を終えることができた。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果は非常に高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成26年度で事業完了のため廃止。					

会計名 一般会計			依佐美中学校大規模改造事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、生徒の教育環境の改善を図る。		主たる内容	昭和37年に建設された北舎の内外装、設備を一斉に改修する大規模改造を行う。 ○平成28年 中舎設備改修工事予定 ○平成29年 中舎内部改修工事予定				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	依佐美中学校の生徒及び教員		事業期間	平成22年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
						依佐美中学校北舎の大規模改造工事を行った。		依佐美中学校中舎大規模改造工事の変更設計を行う。	
成果		設備等に不具合を起こしていた北舎の機能面を回復することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		改修工事進捗率（％）			—	—	20.0	22.0	60.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	154,849	659	合計	154,849,330円	
	財源	特定財源	0	0	97,251	0	委託料	486,000円	
		一般財源	0	0	57,598	659	工事請負費	154,363,330円	
	職員人件費②		0	0	1,267	823			
	総事業費（①+②）		0	0	156,116	1,482			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金（国）					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			依佐美中学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後30年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ生徒の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより生徒が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	工事の遅滞なく依佐美中学校の北校舎の大規模改造工事を終えることができ、現在は中校舎の工事をするための変更設計を進めている。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果は非常に高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成26年度で北校舎が完了、27年度に中校舎の設計を見直し、28年度に中校舎の改修に入る。					

会計名 一般会計			第一学校給食センター建設事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	6	4					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校給食の充実						
	目的	第一学校給食センターを建替え、給食に求められる安全な調理環境を維持・向上させるとともに、特別支援学校に通う子どもたちの状況に合わせた給食を調理する体制を整備する。			主たる内容		昭和56年に建設し、老朽化した第一学校給食センターを、小垣江東小学校の敷地内に移転新築をする。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小中学生及び教員			事業期間	平成26年度～平成29年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
						第一学校給食センターの基本設計を行った。		第一学校給食センターの実施設計を行う。	
成果		小垣江東小学校の敷地内に併設する特別支援学校の計画と調整しながら、移転新築する第一給食センターの基本設計を行った。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		設計進捗率（％）			—	—	25.5	100.0	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	12,167	41,000	合計	12,167,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	20,000	委託料	12,167,000円	
		一般財源	0	0	12,167	21,000			
	職員人件費②		0	0	1,971	1,347			
	総事業費（①+②）		0	0	14,138	42,347			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			第一学校給食センター建設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	4			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	昭和56年に建設し、老朽化した第一学校給食センター施設の移転新築による安定的な調理体制を確保するために必要不可欠であり、有効な手段である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		高い	アレルギー食や隣接して整備予定の特別支援学校への特別食への提供がスムーズにできるよう、また、小垣江東小学校の敷地内に移設することにより、南部地域への効率的な配送を可能にするものである。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	学校給食法の中で、学校給食の設置者は学校給食実施基準に照らして適切な学校給食の実施に努めることが規定されており、市が主体となって実施すべき事業であるといえる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	学校給食の普及充実に加えて学校における食育の推進が重要であり、学校給食の教育的な意義があるだけでなく、市民サービスとしての効果も大きい。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
学校給食施設は、建物は30年以上、設備は10～15年程度のスパンで使い続けるため、ライフサイクルコストに配慮した施設計画をしていくことが重要である。その上で、安全な給食を提供するとともに、アレルギー食の充実など時代の要請に合った施設運営を図る必要がある。					

会計名		委員研修事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	総務係	
10	1					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	教育行政・教育問題についての研修を通し教育委員の資質向上を図ることで、教育委員会運営の活性化を図る。			主たる内容	○教育委員会委員研修旅費等			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	教育委員及び教育長			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		委員研修を行った。		委員研修を行った。		委員研修を行った。		委員研修を行う。	
成果		教育行政・教育問題についての研修を通し、教育委員の資質向上を図った。							
課題		教育委員視察は有意義な事業として教育委員の資質向上、教育委員会の活性化に役立っているが、限定旅費となっているので金額により視察先が限定され、視察の計画を立てるにあたり苦慮している。例えば、数年に1回というような頻度であっても、視察先旅費相当分の予算が確保できれば、より有効的な委員研修の実施が可能となる。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		225	2	10	342	合計	10,080 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	10,080 円	
		一般財源	225	2	10	342			
	職員人件費 ②		1,627	771	774	823			
	総事業費（①+②）		1,852	773	784	1,165			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			小学校管理事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	2	1					担当係	総務係		
								施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	小学校の円滑な管理運営を行う。		主たる内容	○光熱水費（プロパン・電気・水道・ガス） ○校舎等修繕費 ○電話料 ○点検手数料（空調・プール機器等） ○火災保険料 ○委託料（清掃・保守管理・樹木管理等） ○下水道使用料 ○メール配信ネットワーク使用料 ○土地借上料					
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		
成果		光熱水費の節約に努めることができた。								
課題		光熱水費はその年の気温などに左右されやすく経費の増減が流動的で予想が難しい。また、樹木の剪定や高所窓ガラス清掃などは、要望が多く経費の増額が望まれる。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		145,415	149,186	167,239	177,417	合計	167,238,922 円		
	財源	特定財源	28	703	1,230	1,199	需用費	101,796,547 円		
		一般財源	145,387	148,483	166,009	176,218	役務費	11,670,474 円		
	職員人件費 ②		4,421	3,226	3,097	3,369	委託料	41,855,140 円		
	総事業費（①+②）		149,836	152,412	170,336	180,786	使用料及び賃借料	11,916,761 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
		26年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 資源売却収入				
28年度以降の事業費見込		0								

会計名		校舎等改修事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	2					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校の老朽化した校舎、体育館等の改修を行い、学校施設の整備及び保全を図る。		主たる内容	小学校の校舎・体育館等を改修する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・小学校の体育館の外壁の改修を行った。 【実施した学校】 富士松北・日高・東刈谷小学校 ・富士松北小学校に網戸の設置を行った。 ・富士松南小学校の保健室にシャワーを設置した。		・小学校の老朽化した校舎・体育館の外壁改修を行った。 【実施した学校】 双葉小学校（校舎） 小垣江東小学校（体育館） ・小垣江小学校の音楽室の窓枠の改修を行った。		・小学校の老朽化した校舎・体育館の外壁改修を行った。 【実施した学校】 かりがね小学校（校舎・体育館） 富士松南小学校（体育館） ・住吉小学校南舎の屋上防水の改修を行った。		・体育館屋根の断熱材修繕を行う。（富士松東・東刈谷） ・多目的ホールの天井改修を行う。（平成） ・校舎屋上の防水改修を行う。（住吉） ・校舎等の外壁塗装改修を行う。（平成、富士松東、小垣江、小垣江東）	
成果		老朽化した校舎等の機能回復をすることができた。							
課題		校舎改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしているが、大規模改造事業の目安である30年を経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり個々に改修を行っている。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		61,687	39,354	109,370	231,700	合計	109,370,210 円	
	財源	特定財源	0	8,201	9,775	53,314	需用費	14,858,856 円	
		一般財源	61,687	31,153	99,595	178,386	委託料	7,786,053 円	
	職員人件費 ②		1,203	561	986	1,497	工事請負費	86,725,301 円	
	総事業費（①+②）		62,890	39,915	110,356	233,197			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金（国）					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			校舎等補修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校の校舎、体育館等の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。			主たる内容	小学校の校舎・体育館等の破損や痛みが激しい箇所の補修を行う。			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		小学校の校舎等の補修を行った。		・保守点検において危険と判断された遊具の修繕を行った。 【全小学校】 ・不調のプールろ過装置修繕を行った。 【実施した学校】 亀城・衣浦・住吉・富士松東小学校		・保守点検において危険と判断された遊具の修繕を行った。 【全小学校】 ・プール防水膜の経年劣化によるめくれ等の修繕を行った。 【実施した学校】 小垣江・双葉小学校		・プールの給水バルブ修繕を行う。（双葉、東刈谷） ・プールろ過装置の修繕を行う。（東刈谷、衣浦、小垣江） ・暗幕等取替修繕を行う。（平成、かりがね、亀城、衣浦） ・体育遊具の修繕を行う。（全小学校）	
成果		修繕要望を精査し必要な箇所のみ修繕を行えた。							
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
		24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		8,620	11,974	6,307	8,000	合計	6,307,200 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	6,307,200 円	
		一般財源	8,620	11,974	6,307	8,000			
	職員人件費 ②		212	421	422	449			
	総事業費（①+②）		8,832	12,395	6,729	8,449			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			小垣江小学校大規模改造事業				担当部	教育部			
款	項	目					担当課	教育総務課			
10	2	1					担当係	施設係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	学校教育								
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実								
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、児童の教育環境の改善を図る。			主たる内容	昭和39年に建設された北舎の内外装、設備を一斉に改修する大規模改造工事のための設計を行う。					
	位置づけ	関連計画									
		根拠法令									
		対象者	小垣江小学校の児童及び教員		事業期間	昭和26年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画			
		_____		_____		・北舎の大規模改造工事の実施設計を行った。		_____			
成果		設備等に不具合を起こしていた校舎の機能面を回復するための設計委託を行うことができた。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	8,424	0	合計	8,424,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	8,424,000 円			
		一般財源	0	0	8,424	0					
	職員人件費 ②		0	0	2,675	0					
	総事業費（①+②）		0	0	11,099	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	26年度特定財源名称					
		26年度までの累積事業費			0						
28年度以降の事業費見込			0								

会計名			緑化推進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	2	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	小学校における苗木等の植樹や補植といった緑化推進を図り、「自然への慈しみ」がもてるような教育環境をつくる。	主たる内容	小学校へ苗木等の購入を行う。						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		小学校へ苗木等の植栽を行った。		小学校へ苗木等の購入、植栽を行った。		小学校へ苗木等の購入、植栽を行った。		小学校へ苗木等の購入、植栽を行う。		
成果		様々な木々等を植えることができた。								
課題		植樹後の剪定等の樹木管理を考慮した苗木等の購入を行う。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		246	243	250	250	合計	249,750 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	249,750 円		
		一般財源	246	243	250	250				
	職員人件費 ②		71	491	493	449				
	総事業費（①+②）		317	734	743	699				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
		26年度までの累積事業費		0						
28年度以降の事業費見込		0								

会計名		屋外施設整備事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	2	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校のグラウンド、駐車場などの屋外施設の改修を行い、教育環境の保全を図る。	主たる内容	小学校のグラウンド、駐車場等のうち老朽化により破損や痛みが激しい箇所の更新を行う。					
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
				<ul style="list-style-type: none"> ・富士松南小学校の通路改修を行った。 ・富士松北小学校の通路改修工事を行った。 ・富士松北小学校に防球ネットを設置した。 ・亀城小学校の石灰倉庫の建替えをした。 		<ul style="list-style-type: none"> ・亀城小学校の老朽化した「亀城の森」に設置されている柵の取替えを行った。 ・富士松南小学校の西門隣に、児童クラブへ送迎する車との交錯を避けるため歩行者専用門を新設した。 ・衣浦小学校の校地廻りのフェンスを改修した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド排水設備改修を行う。（かりがね） ・体育館横側溝改修を行う。（かりがね） ・防球ネットの延伸改修を行う。（東刈谷、小高原） ・砂場改修を行う。（日高） 	
成果		学校からの要望や現地調査を重ね危険箇所について整備を進めている。							
課題		屋外施設については、大規模改造事業のような全体改修を行う計画をしていないため、必要になった箇所を個々に対応している。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。							
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度
	指標								
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	17,769	39,231	6,300	合計	39,231,000 円	
	財源	特定財源	0	300	0	0	工事請負費	39,231,000 円	
		一般財源	0	17,469	39,231	6,300			
	職員人件費 ②		0	421	704	749			
	総事業費（①+②）		0	18,190	39,935	7,049			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			設備等改修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校の電気や管などの設備の改修を行い、教育環境の保全を図る。			主たる内容	小学校の老朽化により破損や痛みが激しい設備の改修を行う。			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		小学校の舞台装置の改修を行った。		・富士松南・小垣江・東刈谷小学校のエレベーターの取替を行った。 ・全小学校に設置してある体育館のバスケットゴールの耐震点検を行った。 ・富士松東小学校の職員室の空調機の取替を行った。		・富士松東小学校の老朽化した非常放送設備の改修を行った。 ・亀城・かりがね小学校の老朽化した体育館メインスピーカーの改修を行った。 ・小高原小学校の老朽化したエレベーターの更新、及びかりがね・富士松北小学校の改修を行った。		・屋外放送設備の改修を行う。（衣浦・小垣江・東刈谷） ・校舎の便所改修を行う。（住吉、朝日） ・防犯カメラの更新を行う。（全小学校）	
成果		学校設備の取替が必要なものは順次更新を行っている。							
課題		設備関係については、大規模改造事業のような全体改修を行う計画をしていないため、必要になった時に必要になった箇所を個々に対応している。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度
	指標								
	指標								
	他市との比較検証								
C 事業 コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,400	77,923	93,205	210,000	合計	93,205,352 円	
	財源	特定財源	0	54,252	0	40,226	工事請負費	93,205,352 円	
		一般財源	2,400	23,671	93,205	169,774			
	職員人件費 ②		141	771	986	1,048			
	総事業費（①+②）		2,541	78,694	94,191	211,048			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			設備等補修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校の電気や管などの設備の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。			主たる内容	小学校の破損や痛みが激しい設備の補修を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		小学校の設備等の補修を行った。		・消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全小学校】 ・富士松北小学校のプール用水量水器の交換を行った。 ・小垣江東小学校の調理室オーブンの交換を行った。		・消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全小学校】 ・小垣江小学校の電気設備、防火扉の修繕及び揚水ポンプの取替を行った。		・消防設備の修繕・消火器の取替を行う。（全小学校） ・ガス調整器等の交換を行う。（小垣江、双葉） ・屋内外の時計修繕を行う。（小高原、かりがね、朝日） ・給水設備の取替を行う。（富士松北、富士松東、東刈谷）	
成果		毎年の点検の結果を精査し必要な箇所のみ修繕を行うことができた。							
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,398	4,149	6,694	6,081	合計	6,693,624 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	6,693,624 円	
		一般財源	2,398	4,149	6,694	6,081			
	職員人件費 ②		71	421	422	374			
	総事業費（①+②）		2,469	4,570	7,116	6,455			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			コンピュータ教育事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	教育用コンピュータ等の維持管理を行い、児童への一貫した情報教育をすることにより、授業の理解度を高め、情報活用能力を育成する。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク・紙等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○コンピュータ教室の保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検	
成果		コンピュータ教室の機器等の管理運営を行った。							
課題		コンピュータ教室の各学級別の利用時間は、学級ごとで差が大きいため、全ての学級で目標の年間10時間を達成したい。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		71,564	71,473	71,529	72,285	合計	71,528,716 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	4,445,236 円	
		一般財源	71,564	71,473	71,529	72,285	委託料	9,564,480 円	
	職員人件費 ②		707	912	1,056	1,123	使用料及び賃借料	57,519,000 円	
	総事業費（①+②）		72,271	72,385	72,585	73,408			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			図書充実事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	総務係	
10	2	1						施設係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	学校図書を「学校図書館図書標準」の水準に保ち、図書を継続的に更新することにより児童の読書指導に役立てる。また、図書システムの運用・管理を行い、児童の読書指導に役立てる。	主たる内容	○図書の購入費 ○図書システムの保守管理費 ○図書システム機器の賃借料 ○書架等備品の購入費					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	～				
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		図書の購入、入れ替えを行った。		図書の購入、入れ替えを行った。		図書の購入、入れ替えを継続的に行った。また、図書システム（パソコン管理運用事業から移行）の管理を行った。		図書の購入、入れ替えを継続的に行う。また、図書システムの管理を行う。	
成果		学校図書館図書標準の水準を保っている。							
課題		「学校図書館図書標準」は全15校において基準をクリアしているが、継続的に図書の更新を行っていく必要があるため、現状どおりの事業規模が必要と考える。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		11,852	11,872	16,544	14,710	合計	16,544,166 円	
	財源	特定財源	2,000	2,000	2,000	0	需用費	10,351,986 円	
		一般財源	9,852	9,872	14,544	14,710	委託料	2,462,400 円	
	職員人件費 ②		601	421	1,126	1,198	使用料及び賃借料	2,748,060 円	
	総事業費（①+②）		12,453	12,293	17,670	15,908	備品購入費	981,720 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0		教育振興事業費寄付金			
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			パソコン管理運用事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	指導用・管理用パソコンの借上げと、その機器維持管理のための運用委託管理を行う。パソコンの積極的な活用による教育指導の向上及びグループウェアの利用により、開かれた学校づくりやより充実した授業づくりを行う。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○指導用パソコンの保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	平成12年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		指導用パソコンの一部更新		指導用パソコンの運用 図書システムの更新 （図書システムは図書充実事業へ移行）		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの更新		指導用パソコンの運用及び一部入替え 事務用プリンタの運用 デジタル教科書の購入	
成果		指導用パソコンの管理運用を行った。また、事務用プリンタの更新をした。							
課題		各教科や総合的な学習の時間の指導での具体的で効果的な掲示物として、写真や資料をカラー印刷にする機会が増えてきた事でパソコン用カラープリンタのインク代が不足している。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		24年度 （決算）	25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （予算）	26年度 事業費内訳	
	事業費 ①		75,506	79,044	73,832	113,162	合計	73,832,390 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	3,368,264 円	
		一般財源	75,506	79,044	73,832	113,162	役務費	3,294,432 円	
	職員人件費 ②		1,061	2,455	1,760	1,347	委託料	15,578,460 円	
	総事業費（①+②）		76,567	81,499	75,592	114,509	使用料及び賃借料	51,591,234 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			一般教材整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	2	2					担当係	総務係		
			分野	教育文化						
			基本施策	学校教育						
			施策の内容	教育内容の充実						
PLAN 事業概要 計画	目的	保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図る。			主たる内容	○児童用一般教材の購入 ○教師指導用教材の購入 ○特別支援学級の教材備品等の購入 ○全小学校の教材用備品等の更新及び新規購入 ○学校新聞等の印刷製本費				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画			
	児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入する。			
	成果	児童用一般教材の購入を円滑に進めることができた。								
	課題	学校での印刷・資料作成機会の増により印刷製本費と消耗品費の児童数に応じた振分について検討を要する。								
	指標名称（単位）					実績値		目標値		
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費 ①		57,556	59,200	59,555	60,966	合計	59,554,984 円		
	財源	特定財源	0	1,043	0	0	需用費	46,529,339 円		
		一般財源	57,556	58,157	59,555	60,966	備品購入費	13,025,645 円		
	職員人件費 ②		1,486	1,122	1,056	1,198				
	総事業費（①+②）		59,042	60,322	60,611	62,164				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費			0							
28年度以降の事業費見込			0							

会計名 一般会計			中学校管理事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	総務係	
								施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	中学校の円滑な管理運営を行う。		主たる内容	○光熱水費（プロパン・電気・水道・ガス） ○校舎等修繕費 ○電話料 ○点検手数料（空調・プール機器等） ○火災保険料 ○委託料（清掃・保守管理・樹木管理等） ○下水道使用料 ○メール配信ネットワーク使用料				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市内中学生及び教員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施	
成果		光熱水費の節約に努めることができた。							
課題		光熱水費はその年の気温などに左右されやすく経費の増減が流動的で予想が難しい。また、樹木の剪定や高所ガラス清掃などは、要望が多く経費の増額が望まれる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		77,331	80,638	89,960	98,149	合計	89,960,176 円	
	財源	特定財源	1,040	1,022	1,032	830	需用費	62,005,543 円	
		一般財源	76,291	79,616	88,928	97,319	役務費	6,042,725 円	
	職員人件費 ②		3,643	3,577	2,957	2,021	委託料	16,637,617 円	
	総事業費（①+②）		80,974	84,215	92,917	100,170	使用料及び賃借料	5,274,291 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 学校屋外照明施設利用実費徴収金					
28年度以降の事業費見込		0		資源売却収入					

会計名		校舎等補修事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	3					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	各中学校の校舎等の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。			主たる内容	中学校の校舎等の破損や傷みが激しい箇所の補修を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		中学校の校舎等の補修を行った。		・朝日中学校の体育館防水修繕を行った。 ・刈谷南・雁が音中学校のプールろ過装置の修繕を行った。 ・依佐美中学校のプール防水膜修繕を行った。 ・刈谷東中学校の武道場通路屋根修繕を行った。		・刈谷東中学校のプール防水膜の経年劣化によるめくれ等の修繕を行った。 ・富士松中学校の腐食した多目的ホールの床などの修繕を行った。 ・依佐美中学校の経年劣化により剥がれた体育館天井の断熱材の修繕を行った。		・プールろ過ポンプの修繕をする。（刈谷南） ・屋上漏水箇所等の修繕をする。（刈谷南、朝日） ・体育遊具の修繕をする。（刈谷南、富士松、雁が音、朝日） ・弓道場防矢ネット修繕をする。（富士松、依佐美）	
成果		修繕要望を精査し必要な箇所のみ修繕を行うことができた。							
課題		学校によって校舎の傷み具合が違い、学校ごとの課題も出てくる。各学校の現状をしっかりと把握しなければいけない。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度
	指標								
	指標								
	他市との比較検証								
C 事業 コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,572	14,505	7,987	8,000	合計	7,987,356 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	7,987,356 円	
		一般財源	3,572	14,505	7,987	8,000			
	職員人件費 ②		283	1,122	422	449			
	総事業費（①+②）		3,855	15,627	8,409	8,449			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			校舎等改修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	各中学校の老朽化した校舎・体育館等の改修を行い、学校施設の整備及び保全を図る。			主たる内容	中学校の校舎・体育館等を改修する。				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令								
	対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		・富士松中学校のプール更衣室を改修した。 ・体育館の外壁を改修した。 【実施した学校】 雁が音中学校 依佐美中学校 ・刈谷東中学校の武道場の外壁と建具を改修した。		—		・避難所となる刈谷東中学校の体育館に網戸を設置した。 ・雁が音中学校北舎の劣化した屋上防水を改修した。 ・プールサイドの一部に耐熱塗装を行った。 【実施した校】 刈谷東中・雁が音中・朝日中		・柔剣道場等の天井改修を行う。（刈谷南・富士松・雁が音・依佐美・朝日） ・体育館内壁等改修（全中学校） ・プールろ過装置改修を行う。（刈谷東、朝日） ・体育館等網戸設置を行う。（富士松、雁が音、刈谷南）		
成果		各中学校の校舎等を計画的に改修することができた。								
課題		校舎改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしているが、大規模改造事業の目安である30年を経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり個々に対応を行っている。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		43,715	4,830	39,961	209,835	合計	39,960,526 円		
	財源	特定財源	5,888	0	0	62,761	委託料	16,102,467 円		
		一般財源	37,827	4,830	39,961	147,074	工事請負費	23,858,059 円		
	職員人件費 ②		424	0	704	1,048				
	総事業費（①+②）		44,139	4,830	40,665	210,883				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0								
28年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			富士松中学校大規模改造事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、生徒の教育環境の改善を図る。			主たる内容	昭和45年に建設された中舎の内外装、設備を一斉に改修する大規模改造工事のための設計を行う。				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	富士松中学校の生徒及び教員			事業期間	平成26年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
				中舎大規模改造の実施設計を行った。		中舎の大規模改造工事を行う。				
成果		設備等に不具合を起こしていた校舎の機能面を回復するための設計委託を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	7,495	379,271	合計		7,495,200円	
	財源	特定財源	0	0	0	345,719	委託料		7,495,200円	
		一般財源	0	0	7,495	33,552				
	職員人件費②		0	0	774	1,572				
	総事業費（①+②）		0	0	8,269	380,843				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	26年度特定財源名称				
		26年度までの累積事業費			0					
28年度以降の事業費見込			0							

会計名			屋外施設整備事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	3	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	中学校のグラウンド、駐車場などの屋外施設の改修を行い、教育環境の保全を図る。			主たる内容	中学校のグラウンド、駐車場等のうち老朽化により破損や痛みが激しい箇所の更新を行う。				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		・雁が音中学校の石灰倉庫を改築した。		・刈谷東中学校のクラブハウス階段の改修を行った。 ・富士松中学校のテニスコートの改修を行った。 ・富士松中学校の弓道場防矢ネットの増設を行った。 ・雁が音中学校の防球ネット補修及び植栽の剪定を行った。		・雁が音中学校の土の流出により凸凹ができたテニスコートの改修を行った。 ・依佐美中学校の老朽化した石灰倉庫の取替を行った。 ・朝日中学校の老朽化した部活動用倉庫の取替を行った。		・クラブハウスの改修を行う。（刈谷南） ・グラウンドの改修を行う。（雁が音） ・老朽化した給水管更新を行う。（富士松）		
成果		学校からの要望や現地調査を重ね危険箇所について整備を進めている。								
課題		屋外施設関係については、大規模改造事業のような全体改修を行う計画を策定していないため、必要なときに必要な箇所を個々に対応している。そのため、学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。								
指標		指標名称（単位）			実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
他市との比較検証										
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費 ①		299	11,239	5,054	68,000	合計	5,054,400 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	5,054,400 円		
		一般財源	299	11,239	5,054	68,000				
	職員人件費 ②		141	561	352	599				
	総事業費（①+②）		440	11,800	5,406	68,599				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0								
28年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			設備等改修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	中学校の電気や管などの設備の改修を行い、教育環境の保全を図る。	主たる内容	中学校の老朽化により破損や傷みが激しい設備の改修を行う。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・中学校体育館舞台装置の修繕を行った。 ・自動火災報知設備の報知器設置を行った。 （刈谷東・富士松・依佐美中学校） ・刈谷東中学校の屋外放送設備の改修を行った。		・雁が音中学校の屋外放送設備の改修を行った。 ・インターホン改修を行った。（雁が音・依佐美中学校） ・刈谷南中学校のエレベーター改修を行った。 ・全中学校に設置してある体育館バスケットゴールの耐震点検を行った。		・富士松中学校の屋外放送設備の改修を行った。 ・雁が音中学校の体育館放送設備の改修を行った。 ・雁が音中学校の故障が多発する親子時計の改修を行った。 ・雁が音・朝日中学校の老朽化した火災報知機の改修を行った。		・プール給水管改修を行う。（雁が音） ・老朽化した体育館放送設備の改修を行う。（富士松、依佐美） ・調理室ガス器具取替を行う。（朝日） ・防犯カメラの更新を行う。（全中学校）	
成果		各中学校の設備等を計画的に改修することができた。							
課題		設備改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしている部分もあるが、大規模改造事業の目安である30年が経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり、個々に対応を行っている。そのため、各学校ごとの現状を把握することが重要となる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①	5,168	22,407	46,486	18,000	合計	46,485,520 円		
	財源	特定財源	0	12,683	0	0	委託料	480,600 円	
		一般財源	5,168	9,724	46,486	18,000	工事請負費	46,004,920 円	
	職員人件費 ②	212	1,262	704	898				
	総事業費（①+②）	5,380	23,669	47,190	18,898				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			設備等補修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	中学校の電気や管などの設備の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。			主たる内容	中学校の破損や痛みが激しい設備の補修を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		中学校の設備等の補修を行った。		・消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全中学校】 ・体育館の舞台装置・ウィンチ取替修繕を行った。 【全中学校】 ・富士松・朝日中学校の浄化槽の修繕を行った。 ・刈谷東中学校の防火扉電源修繕を行った。		・消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全中学校】 ・刈谷東・富士松・雁が音中学校の給水設備などの修繕を行った。 ・富士松・雁が音・依佐美中学校の防火シャッターの修繕を行った。 ・依佐美中学校の浄化槽送風機の修繕を行った。		・消防設備の修繕を行う。（刈谷東、富士松、雁が音、依佐美） ・ガス調整器等の交換を行う。（刈谷東、富士松） ・給水設備修繕を行う。（依佐美、朝日） ・体育館舞台装置の修繕を行う。（刈谷南、刈谷東、富士松、雁が音）	
成果		毎年点検の結果を精査し必要な箇所のみ修繕を行った。							
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
		24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,206	5,209	7,950	5,349	合計	7,949,793 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	7,949,793 円	
		一般財源	5,206	5,209	7,950	5,349			
	職員人件費 ②		212	1,192	422	524			
	総事業費（①+②）		5,418	6,401	8,372	5,873			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			コンピュータ教育事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	総務係		
10	3	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	教育用コンピュータ等の維持管理を行い、生徒への一貫した情報教育をすることにより、授業の理解度を高め、情報活用能力を育成する。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク・紙等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○コンピュータ教室の保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内中学生及び教員	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		コンピュータ教室の活用機器等保守点検機器等更新		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		
成果		コンピュータ教室の機器等の管理運営を行った。								
課題		コンピュータ教室の各学級別の利用時間は、学級ごとで差が大きいため、全ての学級で目標の年間10時間を達成したい。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		35,364	29,138	29,030	29,610	合計	29,030,160 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	4,200,672 円		
		一般財源	35,364	29,138	29,030	29,610	委託料	3,825,792 円		
	職員人件費 ②		1,768	912	1,056	1,422	使用料及び賃借料	21,003,696 円		
	総事業費（①+②）		37,132	30,050	30,086	31,032				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0								
28年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			図書充実事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	総務係	
								施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	学校図書を「学校図書館図書標準」の水準に保ち、図書を継続的に更新することにより生徒の読書指導に役立てる。			主たる内容	○図書の購入費 ○書架等備品の購入費			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		図書の購入、入れ替えを行った。		図書の購入、入れ替えを行った。		図書の購入、入れ替えを行った。		図書の購入、入れ替えを継続的に行う	
成果		学校図書館図書標準の水準を保っている。							
課題		「学校図書館図書標準」は全6校において基準をクリアしているが、継続的に図書の更新を行っていく必要があるため、現状どおりの事業規模が必要と考える。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		24年度 （決算）	25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （予算）	26年度 事業費内訳	
	事業費 ①		9,553	9,741	9,998	10,167	合計	9,997,950 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	8,998,950 円	
		一般財源	9,553	9,741	9,998	10,167	備品購入費	999,000 円	
	職員人件費 ②		212	421	704	1,198			
	総事業費（①+②）		9,765	10,162	10,702	11,365			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			パソコン管理運用事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	総務係	
10	3	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	指導用・管理用パソコンの借上げと、その機器維持管理のための運用委託管理を行う。パソコンの積極的な活用による教育指導の向上及びグループウェアの利用により、開かれた学校づくりやより充実した授業づくりを行う。			主たる内容	○消耗品費（トナー・インク等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○指導用パソコンの保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員		事業期間	平成13年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		指導用パソコンの一部更新		指導用パソコンの運用		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの更新		指導用パソコンの運用	
成果		指導用パソコンの管理運用を行った。また、事務用プリンタの更新をした。							
課題		各教科や総合的な学習の時間の指導での具体的で効果的な掲示物として、写真や資料をカラー印刷にする機会が増えてきた事でパソコン用カラープリンタのインク代が不足している。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		40,456	38,451	40,525	43,798	合計	40,524,557円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	2,012,951円	
		一般財源	40,456	38,451	40,525	43,798	役務費	1,381,536円	
	職員人件費②		1,061	1,403	1,760	1,347	委託料	6,938,676円	
	総事業費（①+②）		41,517	39,854	42,285	45,145	使用料及び賃借料	30,191,394円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			一般教材整備事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	2					担当係	総務係	
			分野	教育文化					
			基本施策	学校教育					
			施策の内容	教育内容の充実					
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系								
	目的		保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図る。	主たる内容	○生徒用一般教材の購入 ○教師指導用教材の購入 ○特別支援学級の教材備品等の購入 ○全中学校の教材用備品等の更新及び新規購入 ○学校新聞等の印刷製本費				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市内中学生及び教員	事業期間	～				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
	生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入する。		
	成果	生徒用一般教材の購入を円滑に進めることができた。							
	課題	学校での印刷・資料作成機会の増により印刷製本費と消耗品費の生徒数に応じた振分について検討を要する。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値	
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		56,048	58,860	59,184	60,094	合計	59,183,898 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	43,992,695 円	
		一般財源	56,048	58,860	59,184	60,094	備品購入費	15,191,203 円	
	職員人件費 ②		1,981	1,262	1,056	1,422			
	総事業費（①+②）		58,029	60,122	60,240	61,516			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							